

教育目標 「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成

めざす生徒像

- (1) 自ら進んで確かな学力・学習する力を身につける生徒
- (2) 礼儀正しく、気持ちのよいあいさつができる生徒
- (3) 感謝と思いやりの心を持ち、他の人と協調して共に向上できる生徒
- (4) 健康な身体とたくましい体力を持ち、運動に親しむ生徒

南行徳中学校の重点目標

- (1) あたりまえのことがきちんとできる学校
- (2) 生徒の活動が見える学校
- (3) 授業改善を推進する学校
- (4) きれいな環境を整える学校
- (5) 特別支援教育を推進する学校
- (6) 地域と連携する学校

めざす教師像

- (1) 授業の質の向上のために自らの授業を振り返り、研修や授業改善に努力する教師
- (2) 生徒一人ひとりへの理解を深め、生徒に活動意欲を持たせることができる教師
- (3) 教育への情熱を持ち、教員としての成長を目指すことができる教師
- (4) 生徒に豊かな表情で接し、明るくさわやかで生徒から信頼される教師
- (5) 学校の機能性を高めるために、報告・連絡・相談を密に行うことができる教師

具体的な取組

南行徳中学校の共通取組**重要** (落ち着いて学習できる環境)

下足箱の正しい使用方法

- ・上履きは上の段
- ・下履きは下の段  
(習慣化するまで指導を)  
(掲示物の工夫を)

チャイム前着席・次の準備

- ・休み時間に次の授業の準備をする
- ・4校時が移動教室の時は机を移動する

集中して清掃に取り組む

- ・清掃中は無駄な話はしない
- ・担当場所をしっかりと清掃する
- ・時間いっぱい取り組む
- ・きれいな環境をつくる

朝読書

確かな学力

- ・年間授業計画に基づいて計画的に(教科内での共通理解を)
- ・わかる授業の実践
- ・ユニバーサルデザインを意識した授業の実践
- ・生徒の活動がある授業
- ・本時のめあてがはっきりと示される授業
- ・図書館を活用した授業

豊かな心

- ・すべての生徒に声をかけを
- ・挨拶運動、オレンジリボンキャンペーンの推進(生徒会と連携)
- ・道徳教育の充実(年間計画に沿って計画的に)
- ・特別活動(委員会・行事等)の充実(生徒が活躍する場をつくる)
- ・マナーの指導

健やかな体

- ・授業や部活動中の怪我の防止(危険が予見される場合は、適切な対応を行う)
- ・ヘルシースクールの取組の推進(講演会の実施・外部機関との連携)
- ・食育の取組の推進(保健、家庭科との連携)
- ・生活リズムの取組の推進(保健・給食委員会や、養護教諭・栄養教諭との連携)

信頼される学校

- ・教育相談の充実(不登校生徒やふれあいルーム登校生徒等への対応)
- ・子どもに視点を置いた保護者との連携(教師と保護者の良好な関係)
- ・地域の行事やボランティアに積極的に参加(地域の教育力の活用)

## 今年度の重点方針目標

### (1) あたりまえのことがきちんとできる学校

- 基本的な行動様式を指導しながら、規範意識を育て、その向上を図る。  
挨拶、入室指導や集会指導などを通じて、基本的な行動様式を身に付ける。また、清掃指導、朝読書、遅刻・服装指導などを通じて規範意識を育て、その向上を図る。
- 「学習習慣の確立」を目指し、小・中学校が連携する。（「家庭学習のすすめ」リーフレットの活用）  
「忘れ物」「提出物」「宿題」「家庭学習」の取組みを計画的に共通理解のもとに実施する。
- ねらいに即した年間計画を作成し、「わかる授業」の推進を図る。

### (2) 生徒の活動が見える学校

- 生徒の自主的な活動が目に見えたり、聞こえたり、体感できるものにするのを重点にして取り組む。
- 生徒の活動を視覚的にわかるように廊下の掲示を工夫する。（委員会の活動内容や写真の展示）
- 学習の足跡が見えるように工夫する。（作品や優秀ノートの展示など）
- ホームページや学校だよりなどで活動の様子を積極的に伝える。

### (3) 授業改善を推進する学校

- ICT、タブレット機器の積極的な活用を行う。
- ブロック内での授業公開や校内での職員相互公開を行う。

### (4) きれいな環境を整える学校

- 教室環境づくりをする（教室・廊下等）、校舎内環境づくり・校庭の整備
- 情操教育一環として「花一杯」活動に力を入れ、気持ち良く生活できる環境を整える。

### (5) 特別支援教育を推進する学校

- 巡回指導員や特別支援コーディネーターより軽度発達障害についての研修を深める。
- 「授業や学校生活」等具体的な場面での実践的な対処法を身につける。

### (6) 地域と連携する学校

- 幼・小・中学校の連携を推進する。
- 地域の教育力を活用する。（地域の方々に授業や諸活動に入っていただく機会を増やす）

## リフレッシュデー

### ノー残業デー・ノー部活タイム・最終下校短縮の実施

ノー残業デー：毎週水曜日 17:30 までに退勤

ノー部活タイム：各部活週1回の朝、毎週水曜日の放課後

最終下校の短縮：4月～9月 17:30 10月～3月 17:00

### 放課後の使い方

#### 【生徒】

- 生徒に帰宅後の家庭での時間の過ごし方を示す。
  - ① 家庭学習に取り組む。（学校の予習・復習など）※家庭学習のすすめのリーフレットを配付する
  - ② 家の手伝いをするなど、家族の一員であることを自覚して行動する。  
※ 年度初めに、学校だより等で、「ノー部活タイム」「最終下校短縮」の趣旨と、家庭での過ごし方等、家庭への協力を依頼する。

#### 【学校】

- 水曜日は、「南行タイム・簡易清掃」で職員の放課後の時間を確保する。必要に応じて、会議や教育相談等に使う。
- 会議の効率化に努める。
  - ① 終了時間を定める。② 会議の目的とゴールを全員が認識する。
  - ③ パソコンを活用し資料のデータ化